

大阪公立大学 専任教員募集要項
〔文学研究院・文学研究科・英語英米文学専修〕

2025 年 6 月 19 日

人事委員会

この度、大阪公立大学の専任教員を募集することになりましたので、下記によりご応募いただきますようお願い申し上げます。

1	募集人員	准教授または講師 1 名	
2	所 属	文学研究院・文学研究科・言語文化学専攻・英語英米文学専修／ 文学部・言語文化学科・英米言語文化コース 及び人文学学際研究センター（HIRC）	
3	研究分野の 内容	近世～近現代英文学及び人文学に関わる学際的研究	
4	職務内容 (予定)	教育	・担当授業科目（予定） 〈基幹教育〉「UE (University English)」 「AE (Advanced English)」 等 〈学部〉「英米文学史 B」「英米文学演習 B」「英米文学特講」「言語文化概論」「言語文化基礎論」 等 〈研究科〉「英文学研究 B」「英文学研究演習 B」「英語英米文学総合研究」「英語英米文学研究指導」「言語文化学研究」 等 ※学部・大学院において学際的な科目を担当いただく場合があります。 ※大阪市立大学、大阪府立大学の学生が在学中は、対応する教育についても担当していただきます。
		研究	・近世～近現代英文学（主に小説） ・人文学に関わる学際的研究
		その他	・地域貢献および国際交流にかかる業務 ・入試業務を含む大学の管理運営にかかる業務
		変更の範囲	・教育、研究、大学の管理運営の範囲内
5	着任予定時期	2026 年 4 月 1 日	
6	勤務形態	常 勤（任期の定め：なし）	
7	給与・手当等	公立大学法人大阪の制度が適用されます。 https://www.upc-osaka.ac.jp/regulation/	
8	勤務場所	大阪公立大学 森之宮キャンパス	

	勤務場所 (変更の範囲)	法人の定める事業場
9	応募資格	・近世～近現代英文学（主に小説）に関する顕著な業績を有する方 ・博士の学位を有するか、または取得見込みの方 ・人文学学際研究センター（HIRC）が進める学際的研究や国際共同研究、社会共創事業と同センターの運営を担うことができる方（人文学に関わる学際的研究の実績があることが望ましい） ・国際的に評価される研究実績と能力を有し、英語圏の大学を中心とした国際交流や国際共同研究を推進できる方 ・大学院・学部における専門分野の教育、研究指導および基幹教育を担当することができる方 ・専門分野のみならず英語圏の事象全般に関心を有する方 ・教育・研究・地域貢献等に熱意を持って取り組める方 ・大学の管理運営に関する能力と熱意のある方 ・入試関連業務に誠実に従事できる方 ・国籍は問わないが、ネイティブ教員の場合は職務全般に対応できる十分な日本語の能力を有する方 ・学校教育法第9条に規定する欠格事項に該当しない方
10	応募書類	・履歴書（指定様式） ・教育・研究業績リスト（指定様式。なお、それぞれの業績について査読の有無を記すこと。主要業績3点を明示すること。） ・主要業績3点（コピー可。うち少なくとも1点は英文業績とすること。英文業績の場合は日本語で400字程度、和文業績の場合は英語で200語程度の要旨を、それぞれ添付すること。） ・博士号を有していない方については、博士論文計画書および論文の目次（書式自由）
11	応募締切	2025年9月15日（月）必着
12	選考方法	（1）1次選考（書類選考） （2）2次選考（必要に応じて面接や模擬授業等を行う） ※ なお、面接等のために要する経費は、応募者の負担とします。
13	書類提出方法	・以下 URL より応募書類をご提出ください。 https://logoform.jp/f/S1sXb ・応募書類は1つの zip ファイルにまとめたうえで、zip ファイル名を「文学研究科英語英米文学専修所属教員応募書類＋氏名」としてください。パスワードの設定は不要です。 ・業績のうち、単著（書籍）など電子化が困難な場合は、紙媒体のものを下記まで郵送してください。 公立大学法人大阪本部事務機構人事戦略部人事戦略課 〒536-0025 大阪府大阪市城東区森之宮一丁目6番85号3階

		※提出書類に記載された個人情報は、教員採用選考の資料としてのみ利用し、個人情報保護に関する法律に基づいて適正に取り扱います。
14	問合せ先	〔専門分野関係〕 大阪公立大学 文学研究院 大学院文学研究科 英語英米文学専修 担当者：豊田純一 Mail : toyotaj@omu.ac.jp 電話： 06-6605-2428 〔募集全般〕 公立大学法人大阪人事委員会事務局 電話：06-6967-1824
15	その他	・本募集は、公立大学法人大阪が、『大阪公立大学』に勤務する教員として採用するものです。 ・大阪公立大学では、多様性の確保・国際化の理念に基づき、専門分野が合致し、同等の教育・研究業績があると認められる場合には、女性教員や外国人教員の積極的な採用に取り組むこととしています。